

### 東北・関東地方大震災に対する 福岡教区の支援について

**福岡教区の皆様**  
上記大震災に関して、福岡教区民はカリタスジャパンや仙台教区サポートセンターなどの緊急支援の呼びかけに応じて、様々な協力を提供して下さっています。被災者への心からの見舞いと今後の復興への支えと希望の助となることを念じています。既にご存知の通り、ベネディクト16世教皇様や福音宣教省長官からもお見舞いのメッセージと共に義援金が届いています。

さて、去る3月21日に、司教顧問団、各地区の信徒の代表者、修道女連盟の役員、青年代表、関係部門の教区担当者などに集まって頂き、不安と困難の中で過ごしている被災者に対して、福岡教区としての支援対応の可能性を話し合いました。その結果、具体的な受け皿を確立した上で、被災者をホームステイの形で受け入れる方向で検討していくことが合意されました。福岡教区としては、その支援体制を構築して行く予定です。その教区民のご理解とご協力をお願い致します。ホームステイ受け入れの募集やそのための必要とされる事項や条件などを後日配布しますので、寛大なご協力をお願い致します。

2011年3月22日  
福岡教区司教 **ドミニコ宮原良治**  
カリタスジャパン募金のお願い  
郵便番号：00170-5-95979  
加入者名：カリタスジャパン  
通信欄：「東北地方太平洋沖地震」と明記

### 大きな喜びに包まれた福岡教区 二人の新司祭誕生

**この日、ルカ大塚**  
了平助祭へ武蔵丘教

カテドラルの鐘が喜びを告げ、入祭の歌が高らかに響く



この日、ルカ大塚了平助祭へ武蔵丘教区カテドラルの鐘が喜びを告げ、入祭の歌が高らかに響く

3月21日、小雨まじりの天候の中、大塚了平、谷口尚志両助祭の司祭叙階式が、カテドラルにおいて宮原良治司教の手によって荘厳に執り行われた。80人を超える司祭団、神学生時代に新司祭が関った小教区や出身教会など教区全域から千数百人にも及ぶ信徒が集い、会場は立錐の余地なく、2人の司祭の誕生を喜ぶ人びとの拍手がこだました。

### 新しい社会を築く世の光・地の塩に

ルカ大塚了平・フランシスコアシジ谷口尚志  
儀式に先立ち、宮原司教は「東北関東大震災で亡くなられた方々のご冥福と、飢えと寒さとに戦っている方々への支援を祈ります。教会は、本来交わりの共同体であり、新しい社会を築く世の光・地の塩です。」と語りかけた。

叙階の儀は、司祭叙階者の選出・司教の説教・叙階の約束と続き、会衆の篤い連願は天と地とを繋いだ。豊かな聖霊を祈る司教の按手、沈黙のうちに思いを込めて行われる司祭団の按手、叙階の祈りの後、2人の新司祭が誕生した。真新しいストラをかけた新司祭はミサを捧げる両手に聖香油を受け、司教からパンと

葡萄酒が授与された。司教の抱擁の中、感激に涙する新司祭に、祝福の拍手は鳴りやまず、初々しさと真心が伝わる新司祭からの聖体拝領の列は、長く続き、信徒の感動は祈りとなった。



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

**4月の意向**  
【一般】若者に人生の意味と希望を示す  
【宣教】キリストに出会っていない人々の救い  
【日本の教会】日本の教会と聖地の教会のきずな

谷口尚志は「嬉しくて泣いてしまいました。司祭としてのあり方を一生かけて究めて行きたいと思っています。一ヶ月間黙想していつも考えていたことは全く足りない自分でした」と途中声を詰まらせて述べ、その姿に励ましの拍手が沸いた。

また、異動が決っていたF・レナト神父(武蔵丘教会主任)は、「主任司祭としての任務を果たしたと思います」と感慨深げに述べた。

### 時の話題

#### 渡邊隆義神父

東北関東地方を襲った大地震とそれに伴って発生した大津波による惨状をテレビでみながら胸の詰まる思いでした。電力不足の被災地のためにと節電を呼びかけるメールが届きました。九州の電気は東北や関東と周波数が違うので節電してもこれ以上被災地には供給できないと電力会社とおして知りませんが、では私が自分の日常生活の中で被災者

に直接的にできる具体的な支援はなんだろうと考えこみました。災害の爪痕は旧約聖書のヨブ記を再読するよう私に促しました。神は天地創造の時にご自分の業に満足されたようですが(創世記1章31節)その中にこのような惨禍も想定されていたのだろうか。今、神の耳に人々の嘆きの声が届いているのだろうか。「あなたがたはその日その時を知らないのです。だから用意していなさい」(マタイ24章36-44節)とはこのことだったのだろうか。

また、立食パーティーで2人を見守っていた山元眞神父(小倉教会)は「奉仕のプロを目指して一緒に頑張ろう。疲れきったとき、力尽きたとき、神父はさらにもう一歩求められる。自分の弱さの中で神様は使って下さる」とエールを送った。2人の叙階記念カードには、期せずして「わたしはあなたとともにいる」「力は弱さの中で」の言葉が選ばれていた。未曾有の自然災害という困難にあつて、キリスト者として一人ひとりが問われた叙階式でもあった。

式後「この叙階式は神様の方々に心を向けるよい機会になった。教会が一つになって、皆で新しい日本、神のみ国を作りたい」「嬉しかった。神様の恵みを頂きました」「正直で生き生きとしたお二人にこちらが元気になりました」などという声が聞かれた。

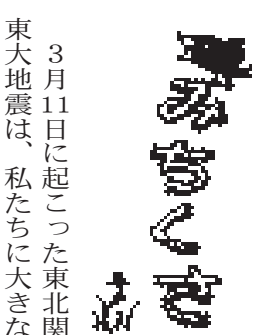
**司祭人事異動**  
◆大名町教会協働Ⅱ大塚了平神父(新司祭) ◆新田原教会協働Ⅱ谷口尚志神父(新司祭)

**新司祭紹介**  
▽1976年8月11日熊本県合志市生まれ▽2000年10月8日韓国ソウル明洞大聖堂で受洗▽2009年2月11日福岡教区カテドラルで助祭叙階。  
★フランシスコ・アシジ 谷口尚志神父  
▽1982年5月14日(聖マチア使徒の祝日)福岡市西区生れ▽1984年1月29日カトリック大名町教会で受洗▽2010年3月22日福岡教区カテドラルで助祭叙階。

て残された瓦礫の山に「神は与えそして取り去りたもう」という厳しい現実を目の当たりにしました。しかし、神がなさることにはいつも希望の種が宿されています。どんなに壊滅的な打撃のなかにも、灰の下から草花の芽が出てきます。巨大地震も大津波も人間の心の中にある善いものを取り去ることはできませんでした。

祭)◆高宮教会主任Ⅱモリス・エドウィン神父(カプチン・フランシスコ修道会)・橋谷安憲修道士(カプチン会) ◆吉塚・南粕屋教会主任Ⅱドミニコ古川健一神父(古賀教会協働) ◆古賀教会主任代行Ⅱウィリアム・エドワード神父(豊橋教会) ◆武蔵丘教会主任ⅡF・ザビエルノ瀬輝幸神父(長崎教区) ◆光丘教会協働Ⅱヨゼフ十時伸治神父(大名町教会) ◆手取教会協働Ⅱデンニ・ヴァユ神父(島崎教会) ◆島崎・玉名教会協働Ⅱアンソニアネロ・ヴァレリオ神父(聖ザベリオ宣教会管区本部) ◆御受難会Ⅱ笹田六合豊修道士 ◆ジュード神父Ⅱ6月からサバティアル ◆硫黄隆二神父(吉塚教会) ◆教区外 ◆戸村悦夫神父・片岡哲夫神父(高宮教会) ◆教区外 ◆F・レナト神父(武蔵丘教会) ◆教区外 ◆染野治雄神父(御受難会) ◆教区外 ◆小川孝志修道士(聖パウロ会) ◆教区外 ◆高宮教会はカプチン・フランシスコ修道会司牧に変わります。

3月11日に起こった東北関東大地震は、私たちに大きな悲しみと苦しみ、そして絶望や不安をもたらしました。数千の方々が命を落とされました。ある方は瓦礫の下で、ある方は海の中へ。本当にこんなことがあるのだろうか、誰もが目を疑ったと思います。私たちはただただ、祈りと犠牲でそして、何らかの具体的な行動で被災者に心を寄せるばかりです。この出来事を通して、神は私たちに何を語ろうとしておられるのか、問わなければならぬと思います。もし、問わないなら、神さまのもとに帰って行かれた数万人の命は、無駄になつてしまふと思うからです。▼この無辜の尊い命は、生かされている私たちに問うています。この大きな災害を通して、神は私たちに何を伝えたのか、私たちに何が求められているのか、何を改めるべきなのか、今後どう生きていくべきなのかと。一個人あるいは日本という国の社会人としてのみならず、教会のメンバーとしてもこの出来事とらえてみる時ではないでしょうか▼私たちの教会は内向きで、この日本の社会の人々に福音をもたらしようという宣教の精神は非常に薄いと言わざるを得ないでしょう。今後の私たちの対応如何によって、教会が主の望まれる姿に変えられる大きな契機となることもできるでしょう。この未曾有の災難を通じて、教会が発信出来ることは何か、苦難と悲嘆の中におられるキリストにどのように仕えていくかなど、私たちは信仰者の眼でこの出来事を冷静に見つめ、出来る行動から起こして行きます。





### 司祭叙階おめでと〜ございます！

#### 谷口新司祭の思い出



私が谷口新司祭と知り合ったのは中学時代の事です。聖パウロ会と一緒に学び・遊び・お祈りをしました。彼はスポーツと音楽(BN)が好きで、他の修道院に夕食に誘われた時も、お札に聖歌ではなくBZを熱唱していました。スポーツにも熱く、大学時代には挨拶代わりにキャッチボールをし、グローブをはさずと手が真っ赤に腫れていたのを覚えてます。

た姿が見えていました。そして去年の助祭叙階式での姿は、私自身の召命についても考えさせられる式でした。私にとっての谷口神父は人生の道しるべと言って過言ではありません。谷口神学生の成長する姿を福岡教区報やカトリック新聞で見るたびに、私自身も頑張ろうという気持ちが出ていました。

#### 大塚新司祭の思い出



司祭叙階の秘跡を受けられた大塚了平神父様、おめでと

うございます。本当にすばらしく喜ばしいことです。さて、私が神父様と初めてお会いしたのは青年会でのことでした。当時熊本では中村彰神父様(現・戸畑教会)の御指導の下毎週祈りの集いを行っていました。誰に対しても敬意をもって接するそのお人柄は当時から印象深いものでした。

#### 大塚新司祭の思い出

突然の災害で悲しみが満ちている今、司祭となられた大塚神父様は私たちの大きな希望と力です。どうぞ主とともに信徒を導いてください。そして私たちは祈りと行いによって隣人と支え合い、神父様とともに歩んで行きます。

### カルメル会荘厳誓願宣立式



2月19日、福岡のカルメル山の聖母修道院(女子跣足方ルメル修道会 福岡市西区今宿上ノ原)は、大きな喜びに包まれていた。

#### 宮原長治司教主司式、糸島教会竹内英次神父・男子跣足カルメル修道会宇治修道院新井神父の共同司式により

#### Sr.十字架のテレジア長谷川川映の荘厳誓願宣立ミサがカルメル会聖堂において執り行われた。

この日、聖堂は、Sr.長谷川の出身教会(東京 高幡教会)からの参列者を始め、福岡教区報を見た信徒たちや糸島教会・北九州カルメル在世会・

### 福岡教区司祭生涯養成講座開催



2月に入って何となく胸の高鳴りを覚えていました。そして迎えた14日、そうです。ご婦人方からいたたくちヨコレット・・・ではなく、福岡教区初、否、日本初の司祭生涯養成講座開催の日。

震える手で2週間分の荷物をバックに詰め込み、いざ雲仙へ。しかし、集合の日はいくくの吹雪の中、積もった雪を掻き分け、掻き分け何とか会場のホテルにたどり着くことが出来た次第です。

くす)の二つの意味がある」と語りかけ、Sr.長谷川は「母なる教会に仕えつつ、絶え間ない祈りと福音的自己放棄により、完全な愛に達し、聖なる三位一体を永遠に賛える」誓願を宣立した。

参加者からは「前の晩からお祈りをしていました。今日一日その余韻で幸せです」「明日から急用が入り、百瀬文晃神父(イエズス会)の講義には与ることが出来ませんでした。それでも収穫の多い養成講座でした。参加費は高かったのですが、それだけの価値があったと思います。実行委員会のスタッフの皆様のご尽力に感謝します。カトリック門司教会主任 井手公平神父

残念ながら、急用が入り、百瀬文晃神父(イエズス会)の講義には与ることが出来ませんでした。それでも収穫の多い養成講座でした。参加費は高かったのですが、それだけの価値があったと思います。実行委員会のスタッフの皆様のご尽力に感謝します。カトリック門司教会主任 井手公平神父

のだ、と解説した。イエスは「祈る時には、こう祈りなさい」(ルカ12・2)と教えてくださったと、主の祈りの一句ごとに説明があった。また、ミサ中の「主の祈り」については、「主の祈りは、教会の祈りであって、奉獻文と拝領の間にあるすべての願いをまとめ、聖体拝領によって示される神の国での会食の招きとなる」と話された。

これら「主の祈り」を唱えるたびに「祈りの先生であるイエス」に聞き従ってこれを模範とし、少しでも近づいていきたい。また、新たにミサの内容が理解できてミサに参加する楽しみができたように思う。

10年間のカテキズムの勉強は少しの無駄もなかった。故松永久次郎司教様、そして櫻井尚明神父様に深く感謝したい。

大牟田教会信徒

坂牧春妙

深堀正平

### カテキズム講座終りの日に

10年の永きに亘りカテドラル大名町教会で行われてきた『カテキズムの勉強会』が1月で終了した。月に1度の講座だが小教区の行事や私用と重なり2/3くらいの参加。われわれには難しいカテキズムを解り易く説明してくださるので「参加することに意義あり」のときもあった。しかし、この最終日は「神の計らいは、なんとすばらしいことか」と気づかされた。

櫻井神父は「今日でこの講座は終わります」と言ったあと、最後は「主のいのり」についてだった。神の業はここまで深いのだと感動した。

「全福音を要約する祈りである主のいのり」あるいは「福音を思い起こすための祈り」で、イエスは新しい生き方を教えてくれた。そしてそれを助けるために、どのように祈るべきかを示してくださいました。

10年間のカテキズムの勉強は少しの無駄もなかった。故松永久次郎司教様、そして櫻井尚明神父様に深く感謝したい。

大牟田教会信徒

坂牧春妙

深堀正平

深堀正平

深堀正平

深堀正平



万物は 神から 神によって 神へ  
ローマ書 11-36

あらゆるものは、神のいつくしみに支えられて生まれ、活かされ、最終的に神のもとへと向かいます。ちよとど、

ではありません。むしろ、死は、はじまりです。神とともに生きる、ほんとうに家族的な生活がつづいていきます。

頃、夕闇の影が迫る時刻になると、決まって鬱々とした恐怖が心のなかを占領します。真つ暗な勉強部屋の片隅にたずみながら、来る日も来る日も、ただ一人で自問自答して生きてみれば、何か答えが見つかるとも思えない、と考えたわけでは

もちろん、いまだに、確たる答えを実感しているわけではありませぬ。しかし、死は、決して途絶ではない、と思いつづけています。いつくしみ深い神が私のことを決して見棄てるはずがないからです。

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

里帰りするかのよう。帰れる場所があるというの、何とうれいことではないでしょうか。キリスト者にとって、死は、決して終わりのな

さて、その昔、筆者は死を恐れていました。中学一年の

放蕩息子の帰りを待ちつつ、心から迎え入れる父親のような神は、こまやかな愛情によってあらゆる人を丁寧につつみこみます。その意味で、神は人間に対して母性的な安堵感を与えます。否、むしろ、あらゆる親は神のいつくしみを引き継いでいるので、子どもを迎え入れ、安堵させることができます。

さて、その昔、筆者は死を恐れていました。中学一年の

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

サレジオ会司祭 阿部仲麻呂神父

**神の前で生と死を考える集い**

②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導:シスター高木慶子(援助修道会)  
内容:現場体験と聖書から語る

③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導:来住英俊神父(御受難会)  
内容:自死の問題、教会の秘跡(特に、病者の塗油)

**カトリック福岡黙想の家**

カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

**ミサ用ワイン**

ワイン デ ミサ **VINO DE MISA**  
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは  
有限会社 **大楠酒店**  
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号  
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

**草苑** (SOU-EN)

カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。

**木下株式会社**

TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



福岡地区信徒協宣教社会部

『教会を活性化するために』英神父が講演



2月20日(日)午後2時よりカテドラル大名町教会にて福岡地区信徒協宣教社会部・宣教社会部主催による講演会が開かれた。テーマは「私が望む教会と社会との関わり、教会を活性化するために」。

講師に英隆一朗神父(イエズス会)を招き行われ、多くの修道女も含めて170人ほどの参加者が英神父の問題意識に聞き入った。

講演は、「このままでは教会として修道会が高齢化問題や家庭での信仰継承が出来ていない現状を背景として潰れていく」という衝撃的な話から始まった。

近頃の若いモンは

一青年による青年事情通信 若者の取り組み

3月13日(日) 東日本大震災被災者のための教会の祈り(晩の祈り)がカトリック大名町教会で行なわれました。

この春福岡を離れる青年たちの「送別会」が予定されている。英神父は、今の教会の現状における危機的状況に反してミサに与るだけで満足して

近づいている将来には、キリスト教が間違いなく広く信じられ、そして福音の「からし種」を発芽させるべく、キリ

紫苑COMから「こひつじ会」誕生によせて



紫苑COMは、精神障がい者と暮らす家族の会です。最新の精神医学の情報収集に努め、家族が「おしゃべり場」を開きます。今回「こひつじ会」を立ち上げました。本人のQOLを高めるために「やさしい料理家庭科教室」は実践済み。精神の病いを、ま

スト教徒として神をよりどころとする生き様を輝かせる時代が到来するであろうと強調した。

水巻教会の野田君文部科学大臣賞に



水巻教会の野田宏人君(小学4年生)は教会の侍者のひとり。去年の夏休みの自由作品『ピンのパイプオルガン』が、福岡県の県知事賞を受賞して、昨秋に県庁で表彰された。このことは早速、水巻教会の主日のミサで全信徒に紹介された。

この大震災という出来事を受け、日本でそして教会であらゆることが新たに始まるのだと思います。復興に向けてそれぞれの立場で長い試練が待ち受けていること、そして「祈り」「行動」すること、原点に、離れた人々を思い、近くにいる仲間と共に向き合っていけたらと願います。

地整備の奉仕活動をされるアルコール依存症の方々へ月2・3回程度の昼食づくりも「おいしい!」の声に励まされて継続できています。食器洗い、お茶の用意など陰で支えてくださるボランティアが大きな力になっていて、ことを知らされています。来る5月14日(土)は「こひつじ会」が紫苑COMから誕生する記念講演会です。応援してください。参加されること、その一歩です。紫苑COM代表 吉永昌子

ザビエル旧聖堂 中期祝福式



ザビエル旧聖堂 中期祝福式 日時 4月10日(日) 14時 場所 福岡黙想の家宗像作業所 司式 宮原良治司教

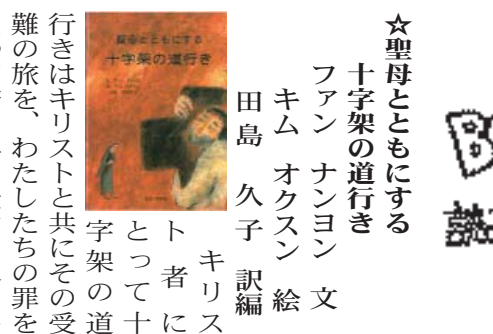
ザビエル合唱団前日練習 日時 4月9日(土) 13時 半から 場所 カトリック西新教会 指導 新垣王敏先生 \*2011年4月7日に完成の予定でしたが、未完成です。様々な形で支えて関心を持って下さっている皆様、ご免なさい。この式に参加して、完成まで支えてください。

3月4日世界祈禱日 今年の唐津はルーテル教会で



毎年、3月の第1金曜日は世界中のキリスト者がひとつのテーマのもと、共に祈り、行動する世界祈禱日である。佐賀県の唐津でも、数十年前から市内の4つの教会(カトリック、ルーテル、日本基督教団、聖書教会)が、その年の当番教会に集まり、祈禱会を行なっている。今年は、3月4日(金)にルーテル教会で、チリの祈禱日委員会から提案された「あなたはいくつパンを持っていますか?」のテーマのもと、祈りが捧げられた。カトリック教会からは、神父と信徒10人が参加した。

60周年記念行事 津和野乙女峠まつり



日時 5月2日(月) 19時 前夜祭(津和野幼稚園) パネルディスプレイ ショー 12時 野外ミサ \*テーマ 乙女峠の歴史について 日時 5月3日(火) 10時30分 聖母行列 (津和野教会、乙女峠) \*2011年4月7日に完成の予定でしたが、未完成です。様々な形で支えて関心を持って下さっている皆様、ご免なさい。この式に参加して、完成まで支えてください。

BOOK 読書専科 聖母とともにする 十字架の道行き

☆現存のあかし モーリス・ズンデル未公開テキスト 第1巻

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 森山工務店

鯛ジャパン・スマイルか

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事

木との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA



